

授業科目 解剖学

【担当教員名】 鈴木 了		対象学年	1	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○			
【概要・一般目標：G10】 人体の基本的構造を肉眼的レベルから顕微鏡レベル（特に光学顕微鏡レベル）で理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 解剖学（肉眼解剖学、顕微鏡解剖学、発生学）とは何かを説明できる。 2. 組織を構成する細胞の名称とその簡単な機能について説明ができる。 3. 人体の各系の臓器・器官について、肉眼的な配置、名称を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	解剖学序論（肉眼解剖学、顕微鏡解剖学、発生学について概説）		1	講義	
2	細胞・組織の基本構造		1	講義	
3	骨格系の解剖		2,3	講義	
4	筋系の解剖		2,3	講義	
5	脈管系の解剖		2,3	講義	
6	呼吸器系の解剖		2,3	講義	
7	消化器系の解剖		2,3	講義	
8	内分泌系の解剖		2,3	講義	
9	生殖器系の解剖		2,3	講義	
10	泌尿器系の解剖		2,3	講義	
11	神経系の解剖		2,3	講義	
12	感覚系の解剖		2,3	講義	
13	まとめ（筆記試験）		1～3	講義に用いた画像を提示しての筆記試験	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		入門人体解剖学 改訂第4版	藤田恒夫	南江堂	1999・5,000円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験		【履修上の留意点】 「生体」を理解する上で解剖学（構造）と生理学（機能）は基礎となるので、双方の教科書を常に脇に置きながら履修し、相互連携して理解、記憶を図る。			